

# 島根県の地震

令和3（2021）年4月

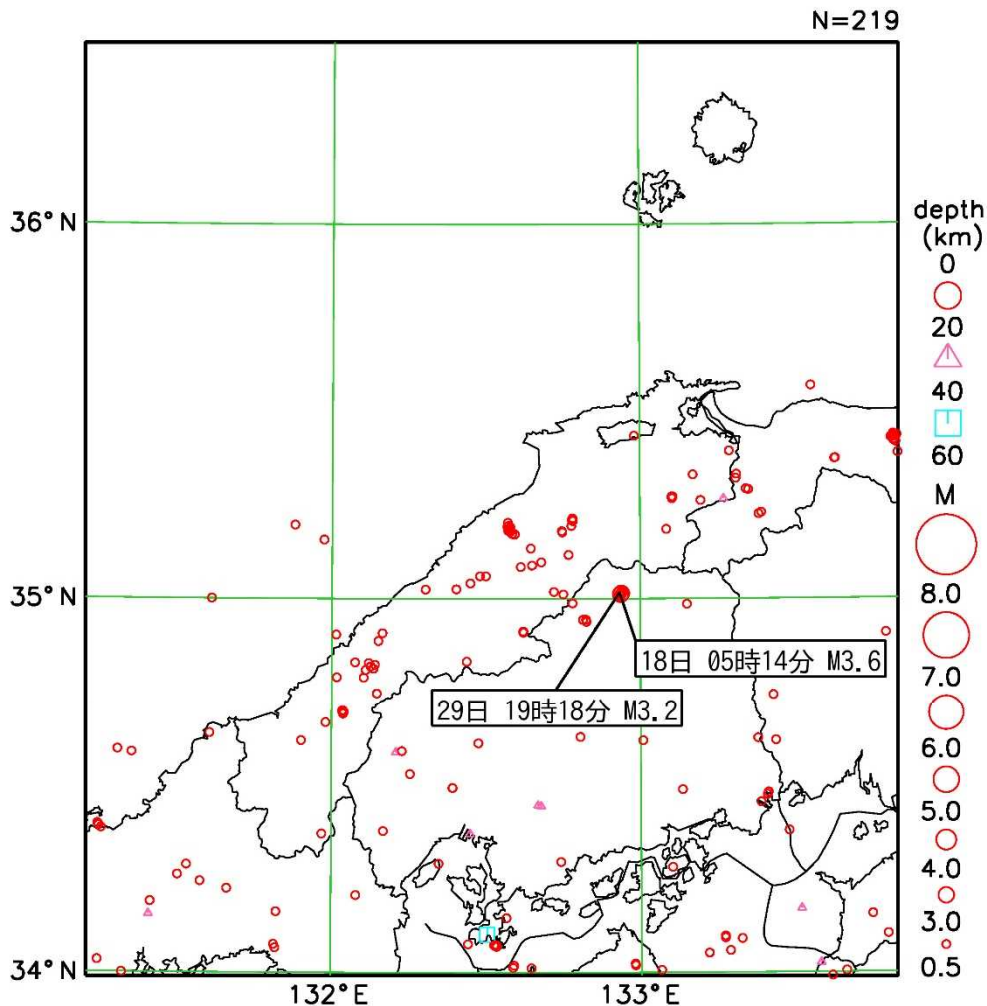
・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用しています。

松江地方気象台

## 島根県およびその周辺地域の地震活動 2021年4月1日～30日

2021 04 01 00:00 -- 2021 04 30 24:00



### [概況]

今期間、M0.5以上を観測した地震は219回（3月は228回）でした。

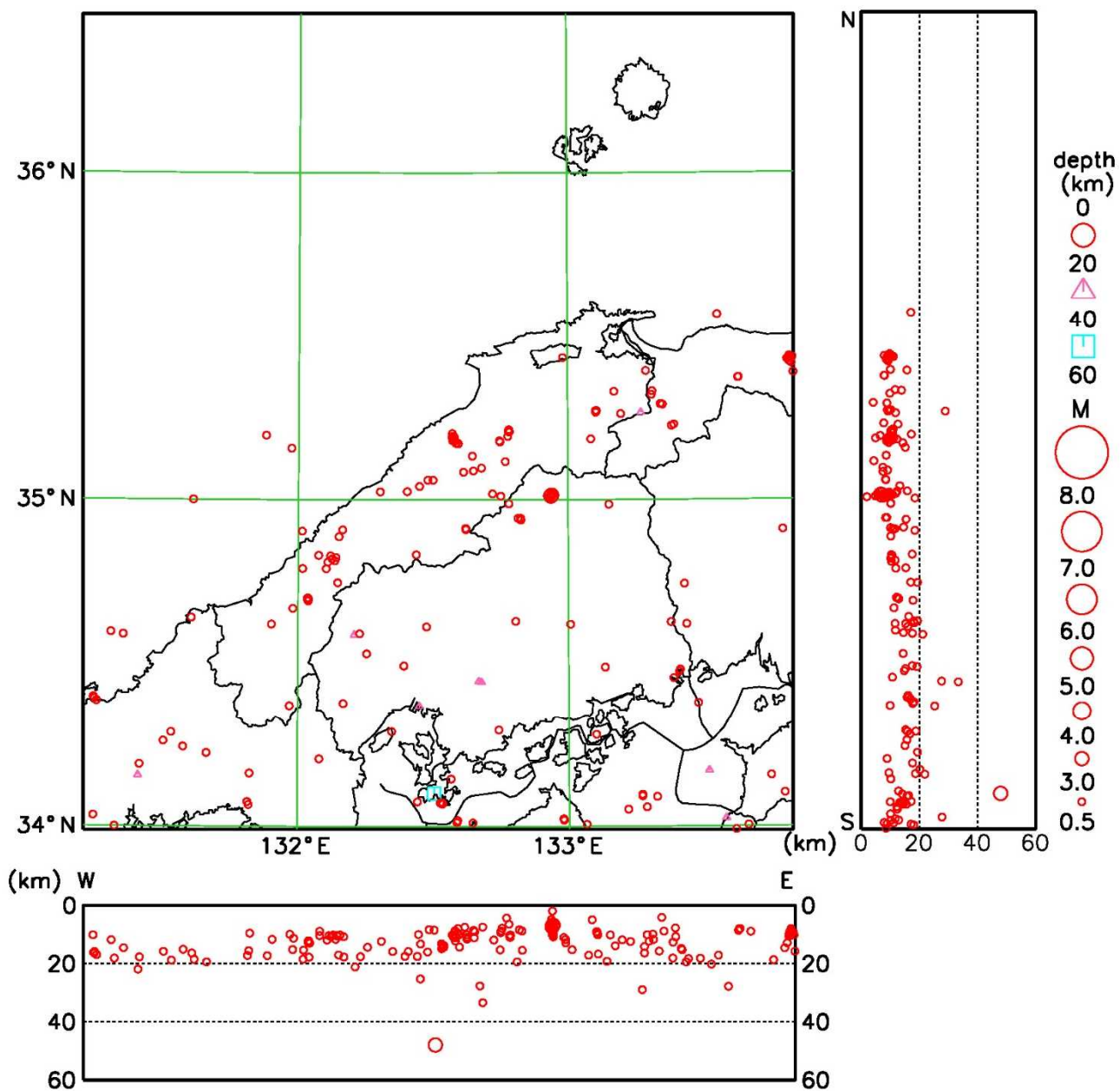
また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、2回でした。

18日05時14分 広島県北部の地震（深さ7km、M3.6）により、雲南市・飯南町で震度2、奥出雲町・川本町・美郷町・邑南町で震度1を観測しました。また、広島県庄原市で震度4を観測したほか、鳥取県、広島県で震度2～1を観測しました。この地震は地殻内で発生しました。

29日19時18分 広島県北部の地震（深さ7km、M3.2）により、雲南市・奥出雲町で震度1を観測しました。また、広島県庄原市で震度2を観測しました。

[断面図]

2021 04 01 00:00 -- 2021 04 30 24:00



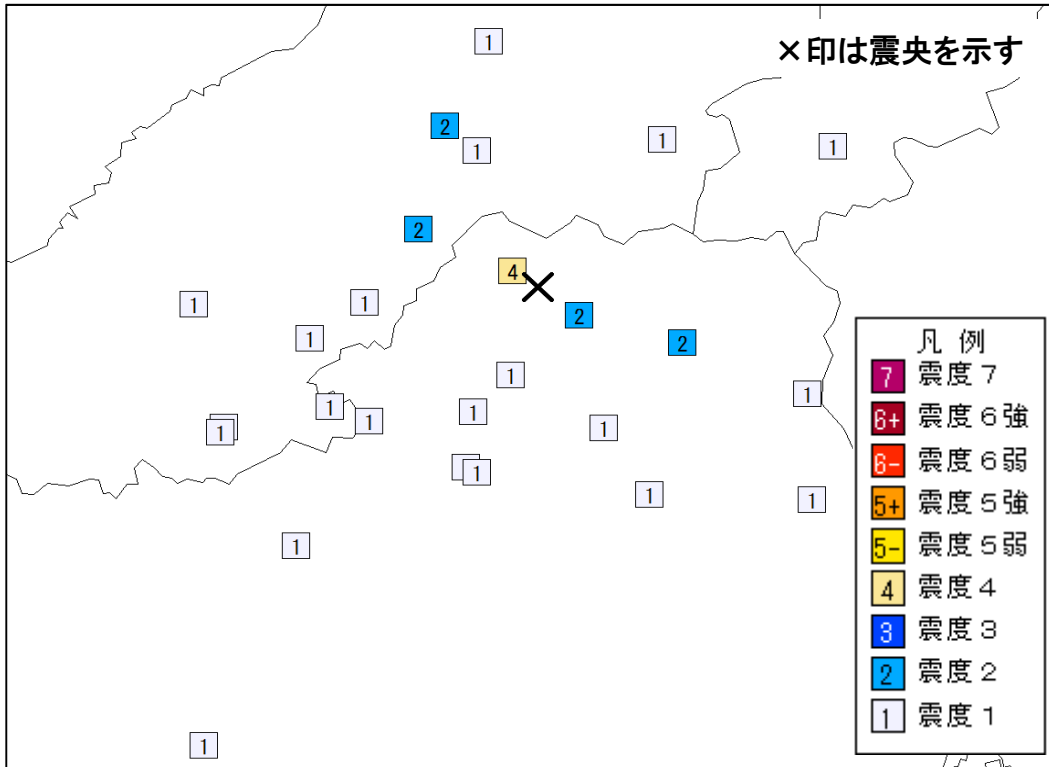
## 4月の島根県内の地震表（震度1以上）

発震日（年月日時分） 各地の震度（島根県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2021年04月18日05時14分	広島県北部	35° 00.7 ' N	132° 56.1' E	7km	M3.6
----- 地点震度 -----					
島根県	震度 2 : 雲南市掛合町掛合* , 飯南町頓原*				
	震度 1 : 雲南市三刀屋町三刀屋* , 雲南市吉田町吉田* , 飯南町下赤名* , 奥出雲町横田* 川本町川本* , 島根美郷町都賀本郷* , 邑南町淀原* , 邑南町下口羽* 邑南町瑞穂支所*				
-----					
2021年04月29日19時18分	広島県北部	35° 00.8 ' N	132° 56.3' E	7km	M3.2
----- 地点震度 -----					
島根県	震度 1 : 雲南市掛合町掛合* , 奥出雲町横田*				
-----					

・ 地点名の後に\*がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

# 【観測点震度分布図】

2021年4月18日05時14分 広島県北部



2021年4月29日19時18分 広島県北部



## 気象庁が行う地震の現地調査とは

2021年5月1日10時27分頃発生した宮城県沖の地震(最大震度5強)では、仙台管区気象台が地震の現地調査を当日に行い、翌日に状況を報道発表しました(下図参照)。このように、震度5強以上を観測する地震などが発生した場合は、気象庁では、地元気象台などの職員を現地に派遣し調査を行います。

松江地方気象台の直近の地震現地調査としては、2018年4月9日に発生した島根県西部の地震(最大震度5強)の際に、震度5強を観測した地域に気象台職員を派遣し、調査を実施しました。

気象庁が行う地震の現地調査の目的は二つあります。

### ① 震度計の緊急点検


大きな震度を観測した場合、震度観測点の観測環境に異常が認められることがあります。このため、観測された震度が適正かどうか、今後も正常な震度観測が継続可能かどうかを確認するため、震度5強以上を観測した震度観測点の観測環境などの点検を実施します。結果、震度観測点の観測環境などに異常が認められた場合、速やかに震度情報の発表対象から外すと共に、今後の対応を検討します。

### ② 被害調査

震度観測点周辺で被害状況の調査を行い、揺れによって現れた現象が、「気象庁震度階級関連解説表」の各震度に対応して記述している現象や被害の状況などと相違ないかどうかを確認します。具体的には、震度観測点の周辺(約200m内)で、建築物やブロック塀の被害状況、周辺の自販機・石垣などの被害状況、道路・地面や斜面の亀裂・ひび割れ等の被害状況を調査します。このような調査により、被害状況に関する新たな事例が得られたり、建物・構造物の耐震性の向上等によって実状と合わなくなったりした場合には、「気象庁震度階級関連解説表」の記述を変更することとしています。また、震度観測点周辺以外でも顕著な被害があった場所では被害調査を行います。

関連事項は、以下のキーワードで検索し入手してください。

気象庁 震度階級関連解説表   気象庁 震度について

 <b>仙台管区気象台</b>	<b>報道発表</b>
いのちとくらしをまもる 防災減災	令和3年5月2日 仙台管区気象台
<b>令和3年5月1日10時27分頃の宮城県沖の地震における          気象庁現地調査班(JMA-MOT)による現地調査結果</b>	
仙台管区気象台は、令和3年5月1日10時27分頃に宮城県沖で発生した地震により震度5強を観測した震度観測点の観測環境や震度観測点周辺の被害状況を把握するため、同日午後「気象庁機動調査班(JMA-MOT)」を派遣し、緊急に現地調査を実施しました。 調査結果の概要は以下のとおりです。	
<b>1. 震度観測点の観測環境の点検結果</b> 震度5強を観測した以下の震度観測点(3地点:全て宮城県内、別紙参照)について、震度計台や周囲の地盤等の点検を行った結果、異常は認められませんでした。 <small>〔通谷町新町東1(わくやちようしんまちうら)〕</small>	

### 図 現地調査結果報道発表資料(抜粋)

資料全文は、気象庁HPの新着情報から入手してください。